

【2020年 トップに聞く オリエンタルコンサルタンツホールディングス
野崎秀則社長 新たな価値提供し、社会に貢献】

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

野崎 秀則社長



19年を振り返って
順調に業績が推移して
いる。国内外ともにイン
フラ需要が堅調であり、
海外ではアジアを中心に
特に高い。これらを背景
に、前期は売上高、営業

利益、純利益で過去最高
益となり、8期連続の増
収増益を達成した。
中期経営計画
25年に向けて、「社会
価値創造企業」をビジョ
ンのスローガンとして、
売上高700億円、営業
利益30億円を目標に事業
を進めている。重要なこ
とは、スローガンの通り、
「社会に新たな価値を提
供し、社会に貢献」する
ことであり、併せて、社
会に貢献する人材育成を

進めること。
事業では、インフラ整
備保全、防災、交通、地
方創生、海外の5つを重
点化事業とし、事業の総
合化、高度化を推進する。

ルを構築した。
新領域、新規の展開
主なものとして、イン
フラ整備保全では、南紀
白浜空港の土木施設の
維持管理で、ICTを活
かしている。

都市の各防災について、
ハード・ソフトの両面か
ら、また、事前防災から
発災後の対応まで、総合
的な支援ができればと考
えている。

ットタウンシステムなど
を導入している。
人材の確保・育成
社員数は、前期の時点
で2500人程であり、
25年に3100人を目標
としている。確保のため
に重要なことは、企業と
しての魅力を上させる
ことであり、育成では、
次世代経営層やグローバ
ル人材の育成、技術士資
格の取得などで、研修制
度を充実させるなどして
いる。

新たな価値提供し、社会に貢献

さらに、自ら投資を行い、
事業を推進する事業経営
にも注力する。前期では、
重点化プロジェクトをI
OO程度企画・実施し、
新たな事業や技術のモデ

用した維持管理システ
ムを開発・導入し、維持
管理の包括的なマネジ
メント事業を進めてい
く。
防災では、水、道路、

働き方改革
グループ各社の施策を
共有し、全体で進めてい
る。オリエンタルコンサ
ルタンツでは、ガイドラ
インを策定し、PCシャ